

# 地域経済概況

No.626

2023年6月



## 国内経済の動き

### ●月例経済報告（内閣府）【6月】

《景気判断》➡「緩やかに回復している」

- 総括判断は、前回判断を据え置いた
- 個別指標においては「企業収益」について表現を変更、「雇用情勢」について前回判断から上方修正した

(個人消費) ➡ 持ち直している	(設備投資) ➡ 持ち直している
(輸出) ➡ 底堅い動きとなっている	(生産) ➡ 持ち直しの兆しがみられる
(企業収益) ➡ 総じてみれば緩やかに改善している	(企業の業況判断) ➡ 持ち直しの動きがみられる
(雇用情勢) 📈 このところ改善の動きがみられる	(消費者物価) ➡ 上昇している

📈…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 📉…前月から下方修正

### ●生産動向

#### ■鉱工業指数（確報）【4月】

令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	105.5	+0.7	102.6	▲0.7
出荷 (速報値)	104.5	▲0.2	100.1	▲1.3
在庫 (速報値)	103.7	▲0.1	103.2	+6.0

(経済産業省調べ)

- 4月の季節調整済指数（前月比）は生産において上昇、出荷および在庫において低下
- 生産で上昇した業種…汎用・業務用機械工業、電気・情報通信機械工業、無機・有機化学工業ほか11業種
- 生産で低下した業種…生産用機械工業、食品・たばこ工業
- 製造工業生産予測調査によると、5月は前月比+1.9%の上昇、6月は同+1.2%の上昇見込み

### ●新車販売台数

#### ■車種別販売台数【5月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	206,663	+28.1
軽自動車販売台数	120,067	+20.0

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

- 5月の普通自動車等販売台数は前年同月比5か月連続の増加、軽自動車販売台数は9か月連続の増加

- 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は326,720台（前年同月比+25.0%）で9か月連続の増加

### ●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

#### ■全国百貨店【5月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
売上高総額		4,111	+6.3
主要5品目	衣料品	1,140	+5.5
	身のまわり品	691	+11.1
	雑貨	844	+6.8
	家庭用品	149	▲0.5
	食品	1,029	+3.8

(日本百貨店協会調べ)

- 5月の売上高は15か月連続の増加
- 顧客別では、国内市場は前年同月比+2.3%で15か月連続の増加、インバウンドは円安と入国制限の終了などを背景に同+249.1%で14か月連続の増加
- 地区別では、10都市が前年同月比+8.5%で20か月連続の増加、10都市以外が同▲0.1%で5か月ぶりの減少

#### ■スーパー等大型チェーン【5月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
総販売額		11,185	+1.3
部門別	食料品	7,840	+4.0
	衣料品	655	+0.2
	住関連	2,099	±0.0
	サービス	19	▲11.8
	その他	570	▲21.6

(日本チェーンストア協会調べ)

- 総販売額は前年同月比で3か月連続の増加
- 食料品は節約志向の高まりから買い控えが続いているが、店頭価格の上昇により売上は伸びた
- 衣料品は気温の上昇とともに季節商品に動きがあり、住関連の動きもまずまずだった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【4月】

	戸数(戸)	前年同月比(%)
総戸数	67,250	▲11.9
利用関係別	持家	▲11.6
	貸家	▲2.8
	分譲住宅	▲21.8
	マンション	▲43.0
	一戸建	▲0.8

(国土交通省調べ)

☞ 4月の総戸数は3か月連続の減少

☞ 前年同月比は持家は17か月連続の減少、貸家は26か月ぶりの減少、分譲住宅は3か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは5か月ぶりの減少、一戸建住宅は6か月連続の減少

☞ 地域別総戸数は首都圏(前年同月比▲8.3%)、中部圏(同▲12.7%)、近畿圏(同▲20.9%)、その他地域(同▲10.7%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【5月】

	受注額(百万円)	前年同月比(%)
受注総額	119,316	▲22.2
内需	37,599	▲24.0
外需	81,717	▲21.3

(日本工作機械工業会調べ)

☞ 5月の受注総額は5か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を28か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【5月】

	倒産件数	負債総額
	706件	2,787億円
前月比	+15.7%	+36.7%
前年同月比	+34.7%	+218.9%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 倒産件数は14か月連続で前年同月を上回った

☞ 負債総額は2か月連続で前年同月を上回った

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は291件発生

## 県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【6月】

《総括判断》➡「一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている」

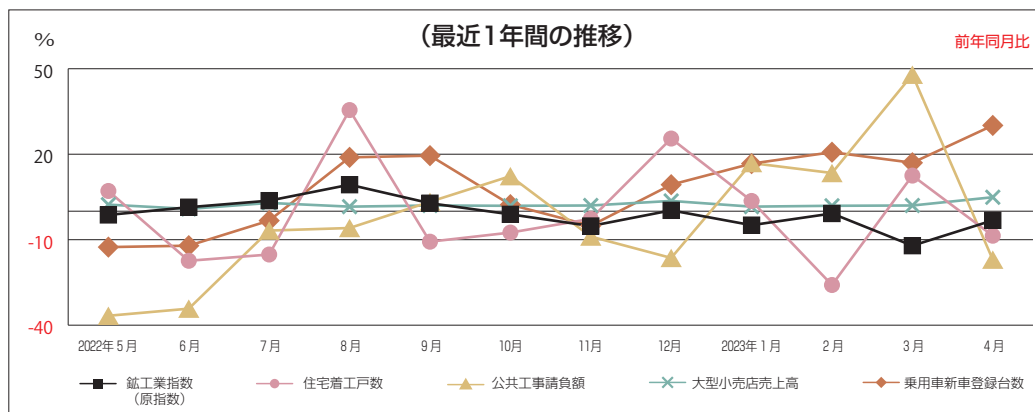
☞ 「総括判断」は昨年5月に発表した概況判断を13か月連続で据え置いた

☞ 個別の判断は住宅投資について「弱含んでいる」として下方修正、その他の項目については前回判断を据え置いた

(設備投資) ➡ 増加している	(個人消費) ➡ 新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも、緩やかに増加している
(住宅投資) 📉 弱含んでいる	(公共投資) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) ➡ 弱めの動きとなっている	(雇用・所得) ➡ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 📉…前回から下方修正

## 県内主要経済統計の推移



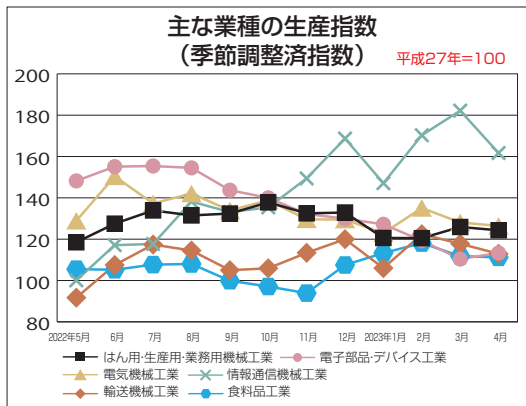
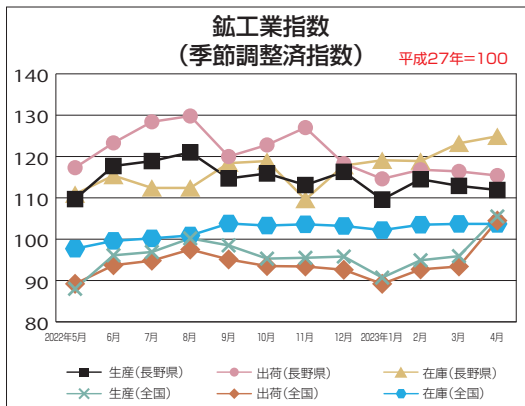
# 県内の産業動向

## 製造業

### ■鉱工業指数（速報）【4月】 平成27年（2015年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	111.9 (112.9)	▲0.9 (▲1.4)	113.3 (125.4)	▲3.2 (▲12.1)
出荷 (前月確報)	115.4 (116.4)	▲0.9 (▲0.3)	116.3 (131.2)	▲5.6 (▲9.8)
在庫 (前月確報)	124.9 (123.2)	+1.4 (+3.7)	123.1 (117.2)	+14.2 (+5.6)

- 前月比（季節調整済指数）で、生産および出荷は2か月連続の低下、在庫は2か月連続の上昇
- 前年同月比（原指数）で、生産は4か月連続の低下、出荷は2か月連続の低下、在庫は19か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…化学工業、金属製品工業、電子部品・デバイス工業ほか6業種
- 生産で低下した業種…情報通信機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業ほか5業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

## 建設業

### ■新設住宅着工戸数【4月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		873	▲8.6
利用関係別	持家	509	▲8.8
	貸家	128	▲33.7
	給与	1	▲66.7
	分譲	235	+16.9

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は2か月ぶりに前年同月を下回った
- 利用関係別では、持家は2か月ぶりの低下、貸家は3か月ぶりの低下、分譲は2か月連続の増加

### ■公共工事動向【5月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	32	3,097
独立行政法人	8	11,549
県	147	10,684
市町村	152	5,906
地方公社	2	23
その他	4	470
合計	345	31,728

(東日本建設業保証調べ)

- 5月の請負件数は前年同月比▲23件、請負金額は同▲17.0%であった。また、請負金額の発注者別では県（前年同月比+8.5%）で前年同月を上回り、地方公社（同▲70.1%）、国（同▲47.9%）、独立行政法人（同▲23.5%）、市町村（同▲11.1%）、その他（同▲23.9%）で前年同月を下回った

## 小売業

### ■自動車登録台数【5月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	3,621	+30.1
軽自動車登録台数	3,131	+17.5
全体（二輪車を除く）	6,917	+23.9
自動車保有台数	1,888,170	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は5か月連続で増加、軽自動車は12か月連続で増加、全体では9か月連続で増加
- 2023年5月末時点における自動車保有台数内訳…登録車947,701台（前年同月比▲0.3%）、軽自動車902,913台（同+1.0%）、二輪車37,556台（同+3.2%）

### ■大型小売店売上高【4月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		21,559	+4.9
内訳	食料品	18,449	+5.2
	衣料品	1,081	+1.6
	雑貨・その他	2,029	+3.6

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は19か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、来店客数が増加したほか販売価格の上昇などもありプラスとなった
- 衣料品は、外出機会の増加に伴い春物が堅調でプラスとなった
- 雑貨・その他は、身の回り品や化粧品などの売り上げが増加した

## 県内の雇用情勢

### ■月間有効求人倍率【4月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.48倍	▲0.03pt
全国	1.32倍	±0.00pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

### ■新規求人数【4月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	16,475人	▲5.4%

(長野労働局調べ)

### ■新規求職者数【4月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	9,057人	▲1.0%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.16ポイント上回り、全国順位は12位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人数(季節調整値)は48,535人で前月比▲1.4%の減少、有効求職者数は32,762人で同+0.4%の増加

☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業など

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、情報通信業など

☞ 全数のうち常用は4,838人(前年同月比▲1.8%)、パートは4,137人(同+0.6%)

## 県内の倒産状況

### ■企業倒産整理状況【5月】

	倒産件数	負債総額
	6件	419百万円
前月比	+50.0%	▲69.3%
前年同月比	▲33.3%	▲64.4%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では北信、中信がそれぞれ2件、東信、南信がそれぞれ1件

☞ 業種別では運輸業が3件、建設業が2件、学術研究・専門・技術サービス業が1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は3件

## 編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取り組み～

### 地域応援定期預金

第13弾

### ながぎん地域応援キャンペーンを実施します！

- ・ ATM・インターネットバンキングからの定期預金新規お預入れで特別金利に！
- ・ 県内の自然・文化財等の維持費に寄付※を行います。

※お客さまのご負担はございません。

商品	スーパー定期預金1年もの(自動継続扱い)	
お取扱期間	2023年7月1日(土)～12月30日(土)	
対象のお客さま	個人のお客さま(個人事業者を含む)	
お預入れ方法と適用金利	ATM・インターネットバンキングによるお預入れ	特別金利年0.030%(税引後0.0239055%)
	店頭窓口によるお預入れ	通常金利年0.002%(税引後0.0015937%)
お預け入れ金額	1□10万円以上1,000万円未満	
満期時のお取扱い	満期日以降の適用金利は、満期日時点の店頭金利表示(通常金利)により自動継続	
中途解約について	満期日前に解約される場合は、お預入れ期間に応じた中途解約利率が適用されます。(中途解約利率の具体的な内容は、「定期預金規定集」および「商品概要説明書」に記載されております。)	



くわしくは、お近くの各支店窓口までお気軽にお問合せください。